

# 三翠化学会

(題字は稲川先生)

第58号

平成21年11月22日発行

三翠化学会

津市栗真町屋町1577

三重大学大学院生物資源学研究所内

電話/津(059)232-1211

振替/名古屋9-59345

印刷/株式会社あるむ

TEL (052) 332-0861 大8 長谷川 正一

## 梅林先生 外務大臣表彰 三重大学長特別表彰 に輝く

梅林正直先生(平成九年三月御退官・土壌学・植物栄養学)には、長年のタイ国における植樹活動と農業技術指導が高く評価され、平成二〇年度外務大臣表彰を受けられました。表彰状は平成二〇年七月二十九日チェンマイ総領事館公邸で行われ、横田順子総領事が「長年にわたる農業技術指導と植樹ボランティア活動で日タイ友好の増進に多大な貢献をし特に顕著な功績があった」と栄誉をたたえ、表彰状と銀杯を手渡

されました。式には元チェンマイ大学副学長らも出席され、公邸の庭にはマナオ(タイのライム)の記念植樹が行われました。先生のタイにおつきあいはとても長く、昭和五四年に初めて訪タイされ現在までに七五回に達しています。現職でおられた頃は学術的な交流で、中でも退官前に立ち上げられた「チェンマイ大学植物バイオテクノロジー」は、外務省による国際プロジェクトで、大勢の人と巨額の資金を動かし、日タイ

両国に大きなインパクトを与えたものでした。今回表彰対象となった植樹活動は、先生が退官と同時に始められたもので、タイの山岳民族によるケシ栽培を他の換金作物に置き換えることにより、麻薬を絶とうとされたものです。青年海外協力

隊の女性隊員から相談を持ちかけられたことがきっかけであったそうです。タイの事情に精通された先生のお考えで、道路事情のきわめて悪いタイ北部の山岳民族の居住地域にふさわしい作物として梅が選ばれました。梅は塩蔵や焼酎漬けに加工して貯蔵がきくので、雨が降ると四輪駆動車も通行不可能な場所にも適するため伺いました。先生はタイ語に堪能で、山岳民族の村に向かれば老方と話をし、ご自身が植えられるほか村人に苗を贈る形で多くの苗を植えてこられました。梅の栽培に適さない低い所にはマナオを植樹しておられます。

昨年一月二日には、三重大学長特別表彰第一号を受けられました。この表彰は国立大学法人化後新たに設けられ、「社会活動等における功績が特に顕著であり、本学の名誉を高めた」と認められる方を表彰する制度で、豊田康前学長のブログにもあるとおり、先生の活動は第一号にふさわしい素晴らしい業績です。当日引き続き三重大学講堂で記念講演会「独りぼっちの木」の根運動のいないNGO」が行なわれ、生物資源学部学生や学内外から大勢の方が講演を伺いに集まり、会場は満員の状況で予備の椅子が多数運び込まれました。先生はその中で「遺伝志」という言葉をつかれ、志を後輩に伝えることよってこの活動がますます発展することを希望すると述べられました。志は後輩に十分伝わったものと思われました。

もおつしやってみえました。まことに常人のできることではないと強く思った次第です。満七六才になられた現在もお考えは変わらなとお見受けしています。チェンマイには家を借りて毎年三月月ずつ二回そこに滞在しておられます。

昨年九月二〇日(土)午後二時三〇分より、平成二〇年度三翠化学会総会が、三重大学生物資源学部校舎二階二六教室において行われた。総会では、福田会長(大1)の挨拶をいいただき、議事に入り、平成一八・一九年度の事業報告、決算

報告が担当幹事により行われ、満場一致で承認された。次に福田会長から、小畑先生(大15)への会長の交代が提案され、満場一致で承認された。引き続き、小畑新会長から平成二〇・二一年度役員が委嘱された後、平成二〇・二一年度の事業計画、予算が担当幹事から提案され、いずれも承認された。

三翠化学会総会に引き続き、三翠化学会三重県支部総会が、池山三重県支部長(大16)の進行で開催され滞りなく終了した。一時より特別講演として「三重大学の思い出と近況のご報告」と

この度は図らずも、福田映前会長の後をうけ、三翠化学会会長の後を仰せつかりました。三重高等農林学校に源を発し三重大学農学部、生物資源学部に至る母校の長い歴史、それともある本会の歴史に思いを致すとき、責任の重さに身の引き締まる思いしております。その器でないことはもとより承知しておりますが、大変革にともない同窓会も変わっていくかざるを得ない中、その時期に現職教員として母校に在籍させて頂いた者として、つなぎをせよとの会員諸氏からの

から、本会の歴史などを説明してお話を頂いた。本誌に掲載された写真を交えながら、(大30・菊田修一)

## 平成20年度 総会の開催

報告が担当幹事により行われ、満場一致で承認された。次に福田会長から、小畑先生(大15)への会長の交代が提案され、満場一致で承認された。引き続き、小畑新会長から平成二〇・二一年度役員が委嘱された後、平成二〇・二一年度の事業計画、予算が担当幹事から提案され、いずれも承認された。



### 小畑 仁会長からのご挨拶

ご指示とごころえ、微力ながら務めさせていただきます。ご案内のとおり、母校三重大学が文部科学省内の組織である「国立大学」から、独立した組織である「国立大学法人」に変わってからはや五年が経過しました。その前後の大きなうねりの中大学の生き残りかけた改革が求められ、生物資源学部も組織改革を余儀なくされ、法人化に先立つ改革によってそれまでの一学科八コース体制から三学科体制に変更されました。設置された三学科には新たに同窓会が結成される予定となっております。学部から農芸化学の名称がなくなり、従って新たな卒業生はいなくなり、またまた大学の方にも、又地域の方でも大変ご多忙な毎日をお過ごしのご様子だったので、(大15)

三翠化学会はこの年から成熟してまいります。会の本来の目的である会員相互の親睦と連携を深めるため、落ち着いた、ゆったりとした運営が望ましいのではないかと考えている次第です。しかしながら、会の財政基盤が弱くなっており、近い将来何らかの方策を考

えないと、機関紙である「三翠化学」の発行もままならなくなる恐れがあります。会員諸氏の英知を結集して新たな道を探りたく考えております。幸い、各支部におかれましては、支部活動が活発に行われ、より身近な連携の場として有意義な企画を行って頂いております。各支部長様はじめ役員の皆様方のご努力に感謝申し上げます。ますますのご発展を祈念致しております。

会員の皆様方のご協力を頂いて責務を全うさせて頂く所存です。ご指導、ご鞭撻をどうかよろしくお願い申し上げます。(大15)

### 福田 映前会長からのご挨拶

この度、次期会長を大学一五回卒の小畑さんにお願ひし(大学教授を定年退職されたばかりで、まだまだ大学の方にも、又地域の方でも大変ご多忙な毎日をお過ごしのご様子だったので、(大15)ですが、ご無理を申し上げ)お引き受け頂くことが出来ました。

任してから一三年余が経ちました。その間ただ徒に年月を費やしただけで、何のお役にも立てなかつたことを、誠に申し訳なく存じて居ります。その間会員各位には、いろいろの面でご不満もあつたでしょうが、ご辛抱の上、何かと協力頂きましたことを、心より厚くお礼申し上げます。

皆様の今後益々のご多幸と、三翠化学会愈々のご発展を、お祈り申し上げます。簡単ながら、退任のご挨拶とさせていただきます。(大1)

## C9クラス報告 (昭和三八年卒)

C9クラス会は、昭和三十八年卒業以来夏のオリンピックの年毎に開催して来ましたが、リタイア後は、冬のオリンピックの年も開くようにしました。今回は、三重県在住者の当番で、二〇〇八年一月八日九日鳥羽戸田屋にて行いました。毎回出席率は良好で今回も生存者二十五名中一八名の出席を得ました。宴会は例によって各自の近況報告にヒヤカシヤヤジで盛り上がり規定時間いっぱいでした。宴会後は一室に集まり、言い足りなかつた事、聞き洩らした事等、

宴会の延長で、賑やかに夜の更けるまで楽しく過ごしました。今回、残念な訃報がありました。大島君が癌で亡くなりました。リタイア後、ユニークな生き様を修行し、彼の近況を聞くのが毎回楽しみだったのに残念でなりません。ただ彼の闘病の様子を聞くにつ

小畑さんが本会発展の為トップに立つてご尽力頂けることになりましたことは会員各位と共に同慶の至りであります。私が一九九五年六月、平成七年度総会の席上で、嶋田会長よりバトンを受け第五代会長に就

を巡りました。森嶋君の故郷とあって彼の昔話と共に楽しい半日を過ごしました。屋敷はジャンボえび天を戴き、名残を惜しみながら解散となりました。次回は愛知県の担当です。二〇一〇年皆楽しみに待っていることでしょう。(大9・幹事 竹尾)



梅林正直先生(平成九年三月御退官・土壌学・植物栄養学)には、長年のタイ国における植樹活動と農業技術指導が高く評価され、平成二〇年度外務大臣表彰を受けられました。表彰状は平成二〇年七月二十九日チェンマイ総領事館公邸で行われ、横田順子総領事が「長年にわたる農業技術指導と植樹ボランティア活動で日タイ友好の増進に多大な貢献をし特に顕著な功績があった」と栄誉をたたえ、表彰状と銀杯を手渡

された。式には元チェンマイ大学副学長らも出席され、公邸の庭にはマナオ(タイのライム)の記念植樹が行われました。先生のタイにおつきあいはとても長く、昭和五四年に初めて訪タイされ現在までに七五回に達しています。現職でおられた頃は学術的な交流で、中でも退官前に立ち上げられた「チェンマイ大学植物バイオテクノロジー」は、外務省による国際プロジェクトで、大勢の人と巨額の資金を動かし、日タイ

両国に大きなインパクトを与えたものでした。今回表彰対象となった植樹活動は、先生が退官と同時に始められたもので、タイの山岳民族によるケシ栽培を他の換金作物に置き換えることにより、麻薬を絶とうとされたものです。青年海外協力

隊の女性隊員から相談を持ちかけられたことがきっかけであったそうです。タイの事情に精通された先生のお考えで、道路事情のきわめて悪いタイ北部の山岳民族の居住地域にふさわしい作物として梅が選ばれました。梅は塩蔵や焼酎漬けに加工して貯蔵がきくので、雨が降ると四輪駆動車も通行不可能な場所にも適するため伺いました。先生はタイ語に堪能で、山岳民族の村に向かれば老方と話をし、ご自身が植えられるほか村人に苗を贈る形で多くの苗を植えてこられました。梅の栽培に適さない低い所にはマナオを植樹しておられます。

昨年一月二日には、三重大学長特別表彰第一号を受けられました。この表彰は国立大学法人化後新たに設けられ、「社会活動等における功績が特に顕著であり、本学の名誉を高めた」と認められる方を表彰する制度で、豊田康前学長のブログにもあるとおり、先生の活動は第一号にふさわしい素晴らしい業績です。当日引き続き三重大学講堂で記念講演会「独りぼっちの木」の根運動のいないNGO」が行なわれ、生物資源学部学生や学内外から大勢の方が講演を伺いに集まり、会場は満員の状況で予備の椅子が多数運び込まれました。先生はその中で「遺伝志」という言葉をつかれ、志を後輩に伝えることよってこの活動がますます発展することを希望すると述べられました。志は後輩に十分伝わったものと思われました。

もおつしやってみえました。まことに常人のできることではないと強く思った次第です。満七六才になられた現在もお考えは変わらなとお見受けしています。チェンマイには家を借りて毎年三月月ずつ二回そこに滞在しておられます。

昨年九月二〇日(土)午後二時三〇分より、平成二〇年度三翠化学会総会が、三重大学生物資源学部校舎二階二六教室において行われた。総会では、福田会長(大1)の挨拶をいいただき、議事に入り、平成一八・一九年度の事業報告、決算

報告が担当幹事により行われ、満場一致で承認された。次に福田会長から、小畑先生(大15)への会長の交代が提案され、満場一致で承認された。引き続き、小畑新会長から平成二〇・二一年度役員が委嘱された後、平成二〇・二一年度の事業計画、予算が担当幹事から提案され、いずれも承認された。

三翠化学会総会に引き続き、三翠化学会三重県支部総会が、池山三重県支部長(大16)の進行で開催され滞りなく終了した。一時より特別講演として「三重大学の思い出と近況のご報告」と

この度は図らずも、福田映前会長の後をうけ、三翠化学会会長の後を仰せつかりました。三重高等農林学校に源を発し三重大学農学部、生物資源学部に至る母校の長い歴史、それともある本会の歴史に思いを致すとき、責任の重さに身の引き締まる思いしております。その器でないことはもとより承知しておりますが、大変革にともない同窓会も変わっていくかざるを得ない中、その時期に現職教員として母校に在籍させて頂いた者として、つなぎをせよとの会員諸氏からの

# 第一〇回三翠化学会関東支部総会報告

## 手作りの総会

立春が過ぎたとは云え、残寒肌にしみる朝九時半、三重大学東京オフィスに現れたのは長島さん(大15)でありました。本日は第一〇回三翠化学会関東支部の総会当日であります。総会開始は午前十一時、ま



第10回三翠化学会関東支部総会・09年2月28日

だ一時間半も前でありました。この頃すでに藤川副支部長(大20)の、サンド・サンドの工場では、従業員皆様の協力で懇親会用のサンドイッチができておりました。藤川社長は市場でオードブルやお寿司の仕入れに大奮でありました。世の中大不況の節、総会もすべて手づくりでを合言葉にアルコールは自宅にあるものを無償提供で、会場は無料の東京オフィスセミナー室で、設営は役員全員で、これで会費五千円のめどがつかまりました。長島副支部長は設営担当で一番のりと云うわけでした。

総会は辻野支部長(大11)の挨拶で始まり、二年間の支部活動が報告されました。来賓は三翠化学会会長に就任された小畑先生で、大学も同窓会に力を入れるとのご挨拶をいただきました。選出された近藤議長(大12)のもと市川副支部長(大16)の会計報告、吉田監事(大12)から監査報告の承認があり役員改選で亀山さん(大12)が支部長に選出され、支部活動の向上が話されました。

講演会は、小畑先生から「三重大学同窓会組織の現状と将来」について詳細な説明をいただきました。参加者一同、トップに立つ三翠化学会会長のお話に大変勇気づけられました。二題めは、「中国の汚染粉ミルク問題」で、メラミン含有粉ミルクにゆれる中国の食品安全の背景を、清水副支部長(大14)が話しました。懇親会は市川副支部長の出席でスタートし、出席者最年長の岩田さん(専一)のスピーチをいただき、中西さん(大2)の乾杯の音頭でにぎやかな交流が始まりました。浅井副支部長の歌指導のもと、血潮に燃ゆる健児が集いてここに四四名(全参加者)での大合唱になりました。前参加が目立った会場は、本会の大成を物語りました。オオトリは、軽妙洒脱な長島副支部長(大14)の閉会の辞、皆様にごやかに散会となりました。

記日時 平成二十二年 二月二十八日  
 場 所 三重大学東京 オフィス  
 参加者 四三名と 小畑先生

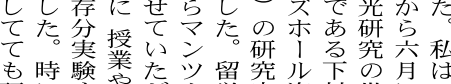
## 酒蔵見学会のご案内 (三翠化学会三重県支部主催)

清酒の銘柄を「三重大学」として純米大吟醸と大吟醸がこの春に販売されました。三重大の品種登録酒米(弓形穂)を附属農場で栽培し三重大生が大学キャンパスに近い寒紅梅酒造(株)で造ったお酒です。新聞やテレビで頻りに報道された効果もあってお酒は完売しました。また、練習船勢水丸の新船を記念

して三重大学カレーム登場しました。六月に大吟醸でつけた梅酒を先週濾過し瓶詰めもしました。「三重大梅酒」で二月前後に限定販売されます。これから四回目となる新たな酒造りが始まります。三重県支部では酒蔵見学会を企画し、大企業ブランドも可能な限り取りそろえ、会員の親睦会を企画しました。会場では酒の肴にはうつつけのサザエやイカなども焼きますし、三重大学カレームも試食できるように準備いたしました。久々の大学近辺での開催ですので、他支部の方、ご家族の方も大歓迎です。当日は、近鉄歩こう会の会場となっており、ピークが少し過ぎた午後一時からはじめます。寒紅梅

は旧街道に隣接して駐車場はほとんどありません。お酒も入りますので来場には電車(高田本山下車)、バス(白塚口)、タクシーをご利用下さい。場所の詳細はホームページでも確認できます。完熟梅酒の寒紅梅梅酒をさがす。開催日は平成二十二年三月六日(土)、寒紅梅酒造(株)内の会議室(二階)に午後一時までにご集合下さい。約二時間の企画とし、親睦会のほかに、試飲と酒蔵見学の学生の酒造り紹介(二ユー学生的の録画を中心に)があります。会費は一人二五〇〇円です。尚、参加ご希望の方は、大学一六回の池山氏へ、平成二十二年二月六日までに「ハガキ」でご連絡下さい。参加確認のご連絡な

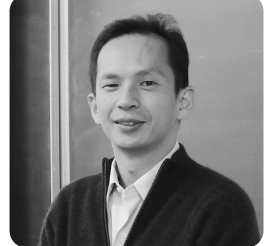
連絡先・五一四一―一二五  
 津市久居元町二二八三  
 池山 洋久宛  
 ベ切・平成二十二年二月六日



どをハガキでしますので必ず、親睦会参加希望、氏名住所、電話番号、卒業年(回)をご記入下さい。

## 今、私は

西尾 昌洋 (大42)



必修単位

去る平成二十二年六月一日より、三重大学大学院生物資源学研究所資源循環学専攻(栄養機能工学教育研究分野)に着任いたしました西尾昌洋です。私は、第三期生物資源学農芸化学卒業、修士課程を修了して一四年経っており、その後、名古屋大学大学院で博士号を修得し、防衛医科大学校にて三年間、米国Drexel Universityにて二年間、米国Drexel Universityにて二年間、(株)デュエスタン・セラピクス研究所にて四年間勤務しました。この様な経歴を踏まえて、現職に着任を感じたことがあります。

今の大学生が何を考えて毎日生活しているのか? という事です。私たちの大学時代は一年から三年までは必修の単位を取るが主であり、忙しい中でその次にクラブ活動やアルバイトがありました。しかし、今の学生は必修の単位を取るのみにあらず、忙しさを埋めたいという気持ちが強いと感じます。私が会社員でいたときもそうでしたが、自分が何をやるべきかをよく考えて行動するというのが大切です。

もししたら、大学生・修士学生と呼ぶのにふさわしい人材になるのか、また、単位が異なる(農芸化学と職に就いては違い)見で、それはちょっとという考えも多々あるかと思いますが、どうぞお許しください。

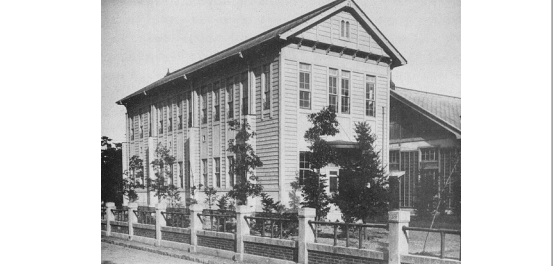
## 下村先生のノーベル化学賞受賞

二〇〇八年、下村脩博士が「緑色蛍光タンパク質 GFP の発見と開発」によりノーベル化学賞を受賞されました。私は一九九六年の二月から六月にかけて、生物発光研究の世界的パイオニアである下村先生(米国ウッズホール海洋生物学研究所)の研究室に留学いたしました。留学当時は朝八時からマンツーマンで研究をさせていただき、大学のように授業や会議はなく、実験しても研究成果につながらないよ、などと言われたこともありません。現在も富山湾のホタルイカの発光メカニズムに関する研究を下村先生と続けています。

ノーベル化学賞受賞理由である GFP の発見については、下村先生が珍しく日本語で書かれたものがアト一株式会社発刊の「バイオサイエンス最前線」二二二号に掲載されており(復刻版が二〇〇九年に出されています)、その当時の研究の様子をうかがうことができます。長崎大学学術研究成果リポジトリでは、同記事

## 大学の思い出シリーズ

学内をいろいろと歩き回って、探してみたところ、現在の正門の横にある柵が古いものであることがわかりました。そこで、高農時代の本を調べてみると当時からあったものであることがわかりました。



「翠丘学園の十年」(昭和7年10月)発行より「特別実験棟」の写真



平成 21 年 9 月撮影、三重大学の駐車場

## 三重大学内でコンビニエンスストアが営業を開始

三重大学開学60周年記念式典が開催される

## 地域イノベーション 研究科が新設される

平成二十二年四月、三重大学に学部を持たない独立研究科「地域イノベーション研究科」が六番目の大学院として発足しました。本大学院研究科の特徴は、プロジェクト・マネジメントを育成することです。とくに、従来の研究型の教育を行うR&D教員と、プロジェクト・マネジメントを教えるPM教員とが、組になって学生を指導するという特徴をもっています。

この研究科は現在一〇名の教員で構成されており、農芸化学分野から前田修一教授(大30)と三島隆准教授(院29)が着任いたしました。今年度は地元企業の経営者の方など六名が博士後期課程に入学し、学位取得を目指しております。また、気軽に商品開発や分析に利用できる実験設備もつコアラも整備しております。地域企業の方が気軽に集まっていたら、商品開発や情報交換できる場を目指しております。

来年度末には博士前期(修士)課程の卒業生を送り出す予定となっておりますが、カリキュラムでは長期のインターンシップや多様な現役企業人による授業を数多く受講しておりますので、ぜひ即戦力として採用いただけましたら幸いです。また、同窓会の皆様所属する県内の企業でインターンシップの学生をお受けいただけましたら幸いです。

## 大学近況

三重大学開学60周年記念式典が開催される

一月九日(金)に三重大学開学60周年記念式典が開催されました。三重大学が新制大学として誕生してから六〇年を迎え、大学も還暦を迎えることになりました。これを機に、新しい校章と、学位授与式(卒業式)で使用するアカデミックガウンが披露されました。二〇〇三年に大学法人になってから六年、第一期目が終了し、様々な評価を受けてまいりました。とくに、教育面では、この地方で三重大学は高い評価を得ております。第二期にむけて研究面での充実と、さらなる発展が期待されております。

したが、三重大学構内にコンビニエンスストアが営業をはじめました。この店は、全国ではじめて、レジ袋を全く置かないコンビニとして注目されました。三重大学は、平成一九年一月に「ISO14001」を認証取得しており、環境先進大学として環境負荷の低減に取り組んでおります。また、平成二〇年には、その環境教育が、文部科学省の「質の高い大学推進教育プログラム」に採択され、学内でも環境教育が盛んに行われています。